

(1) 関数 printf()

場所：/usr/src/lib/stdio

ファイル：printf.c

18行目

分岐：関数 _doprnt()をコール。

機能：printf()のパラメータをそのまま手渡している。

(2) 関数 _doprnt()

場所：/usr/src/lib/stdio

ファイル：doprnt.c

[]行目

分岐：関数 putc()をコール

機能：printf の書式を分析して、数値や文字列を展開してから、文字を出力する。

(3) マクロ putc()

場所：/usr/include

ファイル：stdio.h

分岐：関数 _flushbuf()をコール

機能：一文字ずつストリームバッファーに書き込み、バッファーが一杯になったら、バッファーの内容を書き込む。

(4) 関数 _flushbuf()

場所：/usr/src/lib/stdio

ファイル：flushbuf.c

分岐：関数 _write()をコール

機能：ストリームの種類・状態の違いによって呼び出し先を切り替える。

注：do_write()コールの場合は省略

(5) 関数 _write()

場所：/usr/src/lib/posix

ファイル：_write.c

分岐：関数 _syscall() コール

第1引数：FS の値 []

第2引数：WRITE の値 []

機能：システムコールのパラメータを設定する。

FS が定義(#define)されているファイルの場所：/usr/include

ファイル名：[]

位置：[]行目

WRITE が定義されているファイル

場所：/usr/include/minix

ファイル名：[]

位置：[]行目

(6) 関数 _syscall()

場所：/usr/src/lib/other

ファイル：syscall.c

分岐：_sendrec()をコール

機能：OS からのパラメータを受け取る為の message 構造体をセットして、割り込み発行の関数を呼び出す。

(7) 関数 _sendrec()

場所：/usr/src/lib/i386/rts

ファイル：[]

[]行目

分岐：int SYSVEC (割り込みの発行)

SYSVEC の値 []

学生証番号：

氏名：
